

高等学校 令和 8 年度 (4 学年用) 教科:地理歴史 科目:歴史総合

教科: 地理歴史 科目: 歴史総合 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 4 学年 A 組 ~ B 組

使用教科書: (歴史総合 新訂版 実教出版)

教科 地理歴史 の目標:

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 歴史総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近代以降の日本と世界の歴史について、基礎的な事実や用語を理解している。 歴史資料を読み取り、必要な情報を整理して説明する技能を身に付けている。	歴史事象を多面的・多角的に考察し、資料や根拠をもとに判断し、論理的に表現できる。	歴史に対する関心・主体性 課題に対して粘り強く取り組む態度 資料や他者の意見を尊重し、多面的に考えようとする姿勢 現代社会や自分とのつながりを意識し、学びを深めようとしている

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元 欧米地域における国民国家の成立と日本の開国 【知識及び技能】 国民国家の動きと第2次産業革命の展開を関連付けて理解し、世界・中国の動きを比較対照しながら、日本の開国の過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界と日本の政治・経済の動きを、関連付け、体系づけて理解し、それを説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史的事象を現在の諸課題との関連においてとらえる姿勢を育む。	・指導内容 フランス革命と国民国家の成立 第2次産業革命とヨーロッパの再編 アヘン戦争とアロー戦争 日本の開国と明治維新の展開 日本の開国の過程とその影響 ・教材 要点まとめプリント・資料集・映像資料 等	【知識・技能】 国民国家の動きと第2次産業革命の展開を関連付けて理解し、世界・中国と日本の動きを比較対照しながら、日本の開国の過程を理解できたか。 【思考・判断・表現】 世界と日本の政治・経済の動きを、関連付け、体系づけて理解し、それを説明できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史的事象を現在の諸課題との関連においてとらえる姿勢を育めたか。	○	○	○	4
	・指導内容 地図の種類 地形図のルール 主題図の種類と読み取り地理情報システムと地図 地図を利用して、現代世界を多面的多角的にとらえる。 ・教材 教科書・地図帳 ・一人1 台端末を活用し、適宜地理院地図やGoogleEarthなどを扱う。	【知識及び技能】 ・地図についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・さまざまな地図について、縮尺・媒体・用途などに着目し、適切に整理している。 ・さまざまな統計数値を、適切な主題図で表現している。 ・GIS を操作し、計測結果や主題図を表示している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・紙の地図や GIS に対する関心を高め、閲覧や作業を通して、それらの特徴をとらえようとしている。	○	○	○	4
1 学期 定期考査・答案返却						2
国家の結びつきとグローバル化する社会 【知識及び技能】 交通・通信網の整備や、人・モノ・情報の移動に関して、図表の読み取りを通じて理解する。 交通・通信技術の発達により人やモノ、情報が国境をこえてやり取りをされるようになったことについて、適切に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地域経済圏や国家群がどのように形成され、現状はどのようになっているのかなどについて、図表の読み取りから判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 国境をこえた経済活動や政治的なつながりが、人・モノ・情報などのやり取りに大きく影響を及ぼしていることに着目し、現代世界におけるグローバル化の進展について課題意識をもって考察する。	・指導内容 交通の発達 情報通信の発達 国境をこえる人々の移動 拡大する貿易 つながる世界、多極化する世界 ・教材 教科書・地図帳 ・一人1 台端末を活用し、適宜地理院地図やGoogleEarthなどを扱う。	【知識及び技能】 ・交通・通信技術の発展と国境をこえたさまざまな結びつきについて、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・交通・通信手段や貿易構造の変化、世界の国家群の特徴などについて、地図や図表の読み取りを通じて理解を深めている。 ・交通・通信の利用・整備の状況や国境をこえた人・モノ・情報の移動、世界の国家群などについて、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・交通・情報通信が国境をこえて結びつき、その結びつきがますます強固になっていることについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・貿易や観光などにみられる国境をこえたモノや人の動きについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・グローバル化の加速によって形成された地域経済圏や国家群について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・交通・通信の発達による社会の変化と、それとともに起こるようになった諸問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・グローバル化の進む現代世界において、政治的・経済的な国家間の結びつきが強まっていることに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	14
定期考査・答案返却						2

2 学 期	<p>地球的課題と国際協力</p> <p>【知識及び技能】 世界には多様な文化が存在すること、近年それが均一化する傾向にあることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地形や気候が地域によってどのように異なるのか、そしてそれらが人々の生活にどのように影響を与えてきたかを考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 技術の発展やグローバル化の進展などにもとない、人々の生活文化や産業及びその立地を捉えし、将来的な変化への関心を高める。</p>	<p>・指導内容 「生活文化の多様性と国際理解」 「生活文化と自然環境」 ①地形 「生活文化と自然環境」 ②気候 「生活文化と産業」</p> <p>・教材 教科書・地図帳 ・一人1台端末を活用し、適宜地理院地図やGoogleEarthなどを扱う。</p>	<p>【知識及び技能】 ・世界にみられる多様な文化について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・さまざまな産業とそれらの分布について基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・文化の違いがなぜ生じるかということについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・世界各地で多様な地形や気候・植生がみられることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・さまざまな産業の特徴や産業立地、それらの変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・地域の文化や人々の暮らし、産業の違いを、それぞれの地域の自然環境との関連に着目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・技術の発展やグローバル化などによってどのように産業が発展・変容してきたかについて、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査・答案返却						2
2 学 期	<p>すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて</p> <p>【知識及び技能】 地球環境問題の背景と影響を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな資源・エネルギーの特徴を理解し、生産や消費のあり方を考える。人口問題および居住・都市問題に関して、発展途上国と先進国とに分けて、問題が発生する背景や特徴を理解し、解決策を考察する。</p> <p>食料問題の地域的な特徴や問題が生じる背景について理解し解決策を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 民族問題・難民問題の現状と背景を理解し、改善に向けてどのような取り組みが可能であるか検討する。 地球規模で取り組むべき課題の内容や特徴を確認し、解決や改善に向けた取り組みを考える。</p>	<p>・指導内容 「地球環境問題」 「資源・エネルギー問題」 「人口問題」 「食料問題」 居住・都市問題」 「民族問題」 「持続可能な社会の実現をめざして」</p> <p>・教材 教科書・地図帳 ・一人1台端末を活用し、適宜地理院地図やGoogleEarthなどを扱う。</p>	<p>【知識及び技能】 ・さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・地球的な課題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	○	○	○	16
	定期考査・答案返却						2

3 学 期	<p>自然環境と防災</p> <p>【知識及び技能】 日本列島の自然環境の特徴について世界的な視点からとらえるとともに、地形と気候の両面から理解する。 緯度・経度の違いが、私たちの生活にどのような影響を与えているのか理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日本列島の自然環境の特徴と各地域において発生する自然災害との関係性について、世界的な視点から考察する。 日本列島におけるさまざまな自然災害の発生要因について自然環境や社会環境との関わりから考察する。 自然災害が人々の生活や社会全体へもたらす影響について多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自然災害が人々の生活や社会全体へもたらす影響をふまえ、地域性をふまえた防災・減災対策と災害に強い持続可能な地域づくりのあり方について考察する。</p>	<p>・指導内容 「日本の自然環境の特色」 「さまざまな自然災害と防災」</p> <p>・教材 教科書・地図帳 ・一人1台端末を活用し、適宜地理院地図やGoogleEarthなどを扱う。</p>	<p>【知識及び技能】 ・変化に富んだ日本列島の自然環境、大きな被害をもたらす自然災害について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・多発している日本列島の自然災害とその克服について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 ・日本列島の地形や気候と自然災害について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・日本列島のさまざまな自然災害と防災対策について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・自助・共助・公助の観点から、防災・減災へ向けた取り組みとその課題について意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	○	○	○	7
	<p>生活圏の調査と地域の展望</p> <p>【知識及び技能】 地域調査の手順や具体的な手法を理解し、その技能を用いて地位調査を行う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 身近な地域の変遷を新旧地形図の読み取りなどから判断する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な地域の課題に対して異なるスケールを織り交ぜて考察し、調査テーマを設定する。 身近な地域で生じている課題の要因をさまざまな角度から分析し、仮説を設定する。</p>	<p>・指導内容 地域調査の方法 調査内容の設定 仮説と検証 まとめと発表</p> <p>・教材 教科書・地図帳 ・一人1台端末を活用し、プレゼンソフトや表計算やGISなどを利用する。</p>	<p>【知識及び技能】 ・地域調査の手順や注意すべきことを理解している。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 ・身近な地域の特徴を、設定したテーマに沿ってとらえ、明らかになったことを適切に表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・身近な地域の特徴を明らかにするために、意欲的に地域調査に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	7
	定期考査・答案返却						
							合計
							70